| 学校番号 | T3015 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | （学）数学演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２～４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 自作プリント等 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎時の授業の始めに「モジュール授業」（簡単な四則計算等）を実施する。
数と式、三角比について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

2　学習の到達目標

数学についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈、表現・処理等ができる技能を養う。また、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して、分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする能力を養う。さらに、数学を活用しようとする態度を養うと同時に、基本的な知識および活用技能の習熟を図る。事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともにそれらを活用する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日常生活との関連を図りながら、基本的な概念を理解し、知識を身に付ける。また、これらを用いて事象を数学的に処理する技能を身に付ける。 | 様々な事象を考え、知識を活用して物事を数学的に判断する力を身に付ける。さらに、その過程や結果を数学的に表現する。 | 数と式、に関心をもつとともに、数学の良さを認識する。また、事象の考察に対して積極的に活用しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 数と式 | 自然数の計算<br>筆算による計算<br>整数の計算<br>有理数の計算 | a:簡単な四則計算ができる。<br>b:知識をもとに、数学的に事象を比較・判断することができる。<br>c:具体的な事象の考察に複数の式を組み合わせて活用しようとしている。 | レポート<br>机間指導<br>小テスト | レポート<br>机間指導<br>小テスト | レポート<br>机間指導 |
| 後期 | 数と式 | 数と式の計算<br>計算の基本<br>単項式と多項式<br>展開の公式<br>因数分解<br>実数 | a:簡単な四則計算、展開ができる。<br>b:知識をもとに、数学的に事象を比較・判断することができる。<br>c:具体的な事象の考察に式の展開などを活用しようとしている。 | レポート<br>机間指導<br>小テスト | レポート<br>机間指導<br>小テスト | レポート<br>机間指導 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度